

1 幼稚園の教育目標

イ. すなおな子 ロ. たくましい子 ハ. かしこい子

2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

1. 体を動かして思いきりあそぶ
2. 生活に必要な習慣や態度を身につける
3. 人の話をよく聞き、相手にわかるように話す

3 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	結果	理由	学校関係者評価
1	保育の計画性	B	楽しい雰囲気の中で生活やあそびができるように、子どもの興味・関心・実態に合わせて指導計画を立て、安全に配慮しながら環境づくりや教材研究をしてきた。子どもたちの実態も変わっていくので、職員間で共通理解を深め、保育内容を見直していきたい。	B
2	保育のあり方 幼児への対応	A	子どもたち同士で刺激し合い成長できるように、一人ひとりの良さをきちんと認め、誉めたり励ましたりして援助してきた。また、職員全員で指導上配慮を必要とする幼児はもちろんのこと、その他の幼児についても共通理解を図り、関係機関や家庭との連携も密にとり対応してきた。	A
3	教師としての資質、 能力、良識、適正	A	子どもの良さや変化を教師間で共有し、子どもの姿に合わせて保育方法や行動の在り方を模索したり教材研究したりすることで、保育力の向上を目指している。また、外部の専門家にアドバイスをもらったり他園の保育を見たりして、保育の資質を向上させ、多面的な視点を持てるよう心がけている。	A
4	保護者への対応	A	笑顔で明るい雰囲気ですれすれ日頃から心がけ、園生活の様子を連絡帳や電話等で伝えたり、個人面談や保育参観等で子どもの姿について話したりすることで信頼関係を築くようにしている。またその中で、保護者の思いや意見を聞き、保育の改善に努めるようにしている。	A
5	地域の自然や社会 とのかかわり	B	地域の方のご厚意でいちご狩りをしたりふれあいまつりを通して地域の行事に参加させていただいたりしてきた。今年度は残念ながら天気の関係で自治会運動会への参加はできなかったが、今後ともできる限りの地域の行事に参加することで交流を深めていきたい。	B
6	研修と研究	B	今年度も子どもの育ちを見据えながら教育課程の見直しを行ったことで、教師間で発達について共通意識を持って保育を計画実施することができた。今後も製作活動や絵画活動等で発達段階を教師間で話し合い、目指す姿を明確にしながら活動を進めていくようにしたい。	B
7	外部アンケート	B	アンケート結果では、担任を信頼してくれて子どもの成長を感じることができる、また安心して幼稚園に通わせられるという保護者が多かった。その一方で、園での子どもの姿をより詳しく教えてほしいという意見も寄せられていたので来年度の課題として教師間で見直しを行っていきたい。	B

- *結果の表示方法
- A (3.5以上) 十分達成されている
 - B (2.0以上) 達成されている
 - C (1.0以上) 取り組まれているが、成果が十分でない
 - D (1.0未満) 取り組みが不十分である

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

・子どもたちの心身の健康・発達につながるように、行事や日々の自由あそび、体育あそびを通して身体を動かす楽しさやあきらめないで頑張ることの大切さを感じることができるようになり、あらゆる活動に意欲的に取り組めるようになってきた。
 ・基本的な生活習慣は毎日の繰り返しの指導によって身に付き、自分のことは自分でやろうとする気持ちが育っている。言葉の面で個人差、年齢差はあるが自分の思いを伝えようとする気持ちは育っているので、さらに発言の場を増やしたり教師が子どもの話や思いを受け止めたりしていくことで、相手の話を最後まで聞くことができるように指導援助していきたい。

5 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育内容、取り組みの検討	子どもの姿に応じて今後も子どもの興味や実態を考慮しながら行事の取り組み方や活動内容を検討し、子どもがより一層夢中になって遊べる活動を考えていきたい。また、今まで以上に日々の子供の姿を伝えるように心がけていきたい。
人の話を落ち着いて聞く子にしたい	相手の気持ちを受け止めながら話を聞けるように、褒めたり励ましたりしていくことで人の話を最後まで聞こうとする意識を持てるように指導援助していく。

6 学校関係者評価委員会からのコメント

別紙参照